

# 平成29年度 上下水道部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
上下水道部長 萬代 昇	<p><b>●使命</b> 私たち上下水道部は、市民生活や産業経済活動に欠くことのできないライフライン事業を担っています。災害に強く、安全で良質な水道水を供給するため、高水準な施設整備を積極的に進め、安全・安心で良質な水道水を安定的に給水します。 下水道は、快適な生活環境の整備だけでなく、日々の生活で汚した水を高度処理し水質保全を図り、豊かな水環境を守ります。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①災害に備え、上水道の水源別、配水管エリアを結ぶ連絡管の敷設を進めます。</p> <p>②上水道の浄水場、配水池関連の更新等の機能強化を進めます。</p> <p>③上水道の災害に強い基幹管路の強化や老朽管更新・耐震管への布設替を進めます。</p> <p>④効率的な運営管理を見据えた整備計画を進めます。</p> <p>⑤下水道事業の効率化、維持管理コスト縮減、供用開始区域内の接続推進を図り公営企業として経営の健全化を進めます。</p>	所管課	上水道業務課・上水道施設課 下水道課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			36人	8人	44人
		水道事業会計	4,267,881 千円		
		下道事業会計	2,941,860 千円		
		計	7,209,741 千円		
(うち人件費)	( 283,302 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	基幹管路の災害時 応急給水強化	災害時に邑久・長船間の応急給水 が出来る様に、邑久・長船東連絡 管（土佐～東須恵間）の配管布設 工事を継続します。	耐震型ダクタイル鋳鉄管口径200 mmを、延長約600m布設しま す。	8月に契約を行い進 捗率10%です。	6工区(耐震管ダクタ イル鋳鉄管φ200～ 100mm L=604m)は、 平成30年1月に布設工 事完了しました。	6工区(耐震管ダクタ イル鋳鉄管φ200～ 100mm L=604m) は、平成30年1月に 布設工事完了しまし た。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
2	<p>浄水場施設更新及び配水池関連の機能強化</p>	<p>福山浄水場及び長船水源地の浄水場施設の更新整備事業を継続します。</p>	<p>福山浄水場施設更新整備事業を引き続き施工し、当年度分の事業執行を強化します。長船水源地更新整備事業は、7月末完成を行います。</p>	<p>詳細設計と一部場内工事を行っており今後は機械製作を行います。7月末に完成し8月から通水を行っています。</p>	<p>詳細設計が完了し、浄水処理棟の建築、機械製作を行っており進捗率20%です。今後は、現在行っている工事に加え導水管工事を行います。</p>	<p>福山浄水場の機械製作、導水管工事は完了し、当年度分の事業は執行しました。進捗率は、33.6%で引き続き浄水処理棟の建築工事を行います。</p>
	<p>新甲山配水池建設工事を継続します。</p>	<p>新甲山配水池建設工事を今年度末の完成を行います。</p>	<p>配水池構造物は完成し今後は、緊急遮断弁の設置及び場内整備工事を行います。</p>	<p>緊急遮断弁室は、完成し、3月末までに配管工事、電気工事、場内整備を行い給水開始します。</p>	<p>新甲山配水池建設工事は完了し、平成30年4月1日給水開始予定です。</p>	<p>新甲山配水池建設工事は完了し、平成30年4月1日給水開始予定です。</p>
	<p>新北島配水池建設事業を進めます。また、北島送水管の布設替工事を継続します。</p>	<p>工事実施に向けて説明会を開催します。北島送水管を耐震型ダクタイル鋳鉄管口径400mmで延長148m布設替します。</p>	<p>管路工事は、9月に契約を行い進捗率10%です。</p>	<p>管路工事は進捗率50%です。</p>	<p>新北島配水池については、引き続き検討していきます。管路工事の進捗率は95%で、平成30年5月まで工期を延長しています。</p>	<p>新北島配水池については、引き続き検討していきます。管路工事の進捗率は95%で、平成30年5月まで工期を延長しています。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	有収率の向上	<p>有収率の向上を目ざし、漏水の多い地域の調査を行い、優先順位を決定し老朽管の更新を進める。</p> <p>長船団地老朽管を、耐震型ダクタイル鋳鉄管口径100mm延長約240m水道配水用ポリエチレン管口径75mm～50mm延長約300mの布設替をします。</p> <p>福岡住宅老朽管を2工区に分けて、水道配水用ポリエチレン管口径75mm～50mm延長約1135mを布設替します。</p> <p>パナタウン老朽管を水道配水用ポリエチレン管口径75mm～50mm延長約400mの布設替をします。</p> <p>市内全域においても、厳選し漏水調査実施を定期的に行います。有収率86.7%を目指します。</p>	<p>8月に契約を行い進捗率は30%です。</p> <p>4工区は7月契約で進捗率は20%です。5工区は発注準備中です。</p> <p>発注準備中です。</p> <p>準備中です。</p>	<p>長船団地老朽管3工区（耐震管ダクタイル鋳鉄管φ100 L=238m、水道配水用ポリエチレン管φ75～50mm L=294.1m）は、平成29年12月に完了しました。</p> <p>福岡住宅老朽管工事4工区（水道配水用ポリエチレン管φ75～50mm、499.4m）は、平成29年12月に完了しました。5工区は、平成29年10月に契約を行い進捗率80%です。</p> <p>平成29年11月に契約を行い進捗率30%です。</p> <p>調査箇所を選別し、4回の調査を委託発注しました。</p>	<p>長船団地老朽管3工区（耐震管ダクタイル鋳鉄管φ100 L=238m、水道配水用ポリエチレン管φ75～50mm L=294.1m）は、平成29年12月に完了しました。</p> <p>福岡住宅老朽管工事4工区（水道配水用ポリエチレン管φ75～50mm、499.4m）は、平成29年12月に完了しました。5工区は、（水道配水用ポリエチレン管φ75～50mm、637m）は、平成30年3月に完了しました。</p> <p>パナタウン老朽管（水道配水用ポリエチレン管口径75mm～50mm延長約405.6m）は、平成30年3月に完了しました。</p> <p>調査箇所を選別し、4回の調査を委託発注しました。有収率82.4%です。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	下水道への接続推進	下水道事業の経営健全化のため、供用開始予定地区でのパンフレット配布や広報紙・ホームページへの掲載、本庁1階でのモニター広告等により市民の理解を深め、接続率の向上を推進します。	供用開始地区内への下水道接続率74.5%を目指します。	広報紙・ホームページ、本庁1階でのモニター広告で、早期接続のお願いをしています。また、供用開始から3年以上経過した未接続世帯に早期接続の依頼文書を送付する準備を進めています。	下水道事業審議会を開催し、接続率向上を含め、今後の方策を検討中です。広報紙・ホームページ、本庁1階でのモニター広告による早期接続のお願いも継続しています。	3月末時点で接続率は74.2%です。農業集落排水処理区の一部において、未接続世帯を対象に戸別訪問及びアンケート調査を実施しました。今後も戸別訪問とアンケート調査を継続します。広報紙・ホームページ、本庁1階でのモニター広告による早期接続のお願いも継続しています。
5	処理場の適正な管理	下水道浄化センターを適切に維持管理し、安定的な運転を行います。効率的な運転に努めるとともに、コストの縮減を図りながら健全運営を行います。	流入量に応じてより効率的な運転管理を行います。排水基準水質を確保しながら動力費、薬品費等削減を目指します。	各浄化センターの管理委託業者とコミュニケーションを図りながら機器類の運転時間の短縮及び薬品類の使用量削減に取り組んでいます。また豪雨時の雨水の流入による機器の運転時間、薬品消費量の削減に取り組んでいます。	曝気槽のDO（溶存酸素量）を調節することにより窒素量、pH値をこれまで以上に厳密にコントロールすることが可能となりました。これによりブロワの運転時間を短縮し、動力電気費を縮減しました。またマンホール蓋の鍵穴にゴム栓をし、雨水の流入を減量しました。その結果機器運転の動力費及び水処理の薬品費を削減しました。	曝気槽のDO（溶存酸素量）を調節することにより窒素量、pH値をこれまで以上に厳密にコントロールすることが可能となりました。これによりブロワの運転時間を短縮し、動力電気費を縮減しました。またマンホール蓋の鍵穴にゴム栓をし、雨水の流入を減量しました。その結果機器運転の動力費及び水処理の薬品費を削減しました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
6	鹿忍雨水対策事業	鹿忍地区雨水対策事業実施のため調整事項を図ります。	地元と協議を進め、事業の方向性を決定していきます。	現在、資料収集、情報収集を行っています。	現在、地元代表者と協議を進め、2月末に説明会を開催し、地元の意向を確認いたします。	2月末に地元説明会を開催しました。その時に出た地元からの疑問点を説明に行く予定です。